

令和6年度

視聴覚教育・情報教育功労者文部科学大臣表彰

文部科学省では、視聴覚教育の発展に資するため、学校教育又は社会教育における視聴覚教育の振興に功績のあった者に対して、文部科学大臣表彰を行っています。

●●●●功績の紹介●●●●

○ 青柳 フチ子 氏（村山市）

現戸沢郷土史研究会長

元村山市立図書館戸沢分室おしろやま図書室「おはなし会 おしろやま」サポーター代表
元村山市戸沢地区公民館長

社会教育活動に紙芝居等の視聴覚教材を積極的に活用し、現在も精力的に活動し続け、村山市の社会教育活動の発展に大きく貢献した。地域素材を基にした自作紙芝居は、入念な調査と深い見識に基づいて制作されており、全国的に評価されている。さらに、地域の小学校等で紙芝居を披露し、地域文化の理解と郷土愛の育成に貢献している。

令和6年度

全国視聴覚教育連盟 視聴覚教育功労者表彰

全国視聴覚教育連盟は、多年にわたり、社会教育における視聴覚教育の振興に努力し、功績のあった者を表彰し、その労に謝意を表すると共に、今後の視聴覚教育の発展に資することを目的に表彰を行っています。

●●●●功績の紹介●●●●

○ 折原 由美子 氏（山形市）

現山形紙芝居研究会代表

昭和47年、公立小学校に奉職。平成12年から現在まで24年間にわたり自作した紙芝居を視聴覚教材として積極的に活用し、幼稚園や学校、高齢者施設等で上演するなど社会教育活動を行ってきた。その作品は、郷土の歴史・文化をテーマにしたものが多く、地域での丁寧な取材により的確に構成された作品は、全国視聴覚教材コンクールにおいても高い評価を受けている。平成29年からは「山形紙芝居研究会」を設立して代表を務め、山形県立図書館「紙芝居の広場」等での実演による視聴覚教材の活用により子供たちや住民の学びを深め、郷土愛の醸成に寄与している。